

地域再生プロジェクトの実施結果調書

実施主体 (市町村名)	根室管内教育旅行誘致推進協議会
----------------	-----------------

1 地域再生プロジェクトの実施結果（プロジェクト全体）

地域再生プロジェクト名	地方空港を活用した教育旅行誘致の新たな仕組み 【根室モデル】確立プロジェクト			実施期間	平成２４年度～平成２５年度	事業区分	新規・継続 ２年計画のうち１年目
実施主体	市 町 村 名：根室管内教育旅行誘致推進協議会（根室市、標津町、別海町、羅臼町、中標津町） 民間団体名：						計　　５　市町村 団　　体
格差の分野	地域経済の格差（観光入込客数）						
地域再生プロジェクトの目標	（地域の現状・課題） 当根室地域は道内の他地域に比して観光入込客数が目立って低く、その数も年々減少傾向にある。地域内には全国にも誇れる観光資源が豊富にあるにも関わらず、地域間連携・受け入れ体制が確立されていないこと、交通アクセス、宿泊のキャパシティが限定されていることなどが影響し、交流人口の増加が図られず地域経済が疲弊してきている。 （プロジェクトの目標） 交流人口増加、地域内の資源を有効に活用することを目指し、過去の調査結果等から当地域にも可能性が見込める教育旅行にスポットをあて、地域として高品質で競争力のある学習メニューの開発・提供、受け入れ体制を整備するほか、交通アクセス・プロモーションの強化を図るため、航空会社、大手旅行代理店と連携協定を締結し、新たな仕組みを確立することにより、教育旅行以外の旅行分野にも拡大を図り、さらにはひがし北海道全体を一つのエリアと想定した仕組みを構築し、地域経済の活性化、地域振興・発展に向けた調査研究を進める。						
取組の成果	目標の達成度	設定目標（項目）	現状値 （平成２２年）	支援期間終了後の成果目標 （平成２５年）	左記の目標に対する現時点の達成状況（平成２３年）		
		教育旅行の誘致	26校 2,600 人（平成22 年）	45 校 5,600 人（平成25 年）	33 校 2,400 人（平成23 年）		
	具体的な効果	教育旅行マーケットニーズの把握や、根室エリア全体のモデルコース、体験メニュー・宿泊施設情報等、これまで不足していた情報を整理編集し営業ツールとして活用するなど、各市町が個別に行っていた誘致活動とは違い、地域一体となって取り組むことができたことで、目的達成に向け地域としての連携が深まり、今後の誘致活動に向けての方向性として、根室エリアの認知度をさらに高め話題性を喚起することが重要と認識できた。					
	計画の達成度	プロジェクトの実施により成果が現れるのは、教育旅行の性質上、２年後以降となりますので、現時点での達成度は表すことは不可であるが、各市町で独自で行っていた取り組みが結果として現れ始めているのも事実であるため、当地域への今後の受入れの可能性が高まっているものと期待する					
	住民等の評価	地域一体となって受け入れ体制を整えるための取り組みを推進することにより、関係団体や事業者、地域住民からの期待も高まっており、それぞれの役割を明確にし、新たな仕組みの確立に向け努めることで理解を得られている					
プロジェクト推進上の課題・問題点	（課題・問題点等） 関西圏からの誘致に係る航空路線（直行便の就航）、SE 運賃、乗り継ぎ割引等の実現可能な料金体系の構築、グリーンツーリズム、酪農民泊など、地域とのふれあい体験に係る受け入れ規模の拡大や事業者の掘り起こし、新規起業等に対する支援制度等の確立など （課題・問題点の把握、成果効果の検証、フォローアップを踏まえた今後の展開） プロジェクトの根本となる全日空、旅行事業者（４社）との連携強化を図るとともに、現実的なターゲット校へのアプローチや誘致戦略を強化し、【根室モデル】の確立に向け取り組みを推進していくこととし、支援期間終了後のワンストップ窓口の設置など、受け入れ体制の確立、連携協定の発展的見直し、オホーツク、釧路管内をも視野に入れた広域連携を目指し、地域間連携をより強化し事業を推進する						

2 地域再生プロジェクトの構成事業

(1) 実施計画の達成状況等

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
1	学習メニュー・プロモーション強化事業	当地域に興味を抱かせるよう、魅力あふれる地域内の資源を有効活用し競争力のある学習メニューの開発及び商品化による販路確立を目指す	平成24年度	■コンテンツ開発 ■プログラム開発 ■ルート開発 ■ツール類の作成	・教育旅行誘致促進検討会議の開催（2回） ・根室エリア教育旅行誘致事業委託業務により、広域モデルコース、ロードマップの作成 ・首都圏、近畿圏でのプロモーションを実施 ・酪農家を対象とした「酪農民泊・体験のすすめ研修会」開催	（効果） 旅行事業者に対し、営業ツールとしてモデルコース、体験メニュー・宿泊施設情報等の提供が図られた （課題） 地域の関係団体・事業者等を巻き込んだ事業を展開し、コンテンツの質・量の充実強化が必要	教育旅行マーケットニーズを踏まえ、体験メニュー等の充実を図り、多様なコース設計が可能となるよう、地域の関係団体・事業者等を巻き込み取り組みを展開するとともに、現実的なターゲット校へのアプローチを強化する
2	教育旅行受入推進事業	地域として持続可能な仕組みづくりが必要であるため、受入体制の構築、運営等に係る連携協力、人材育成等の推進、実証実験を実施する	平成24年度	■実験事業の実施 ■事業化に向けた運営体制の検討 ■調査事業の実施	・連携協定事業者への事業説明会・商談会の開催 ・学校関係者を対象としたモニターツアーの実施 ・根室エリア教育旅行誘致事業委託業務により、マーケットの実態把握調査の実施	（効果） マーケットニーズの把握ができたことにより、今後の方向性共有が図られた （課題） 広域ワンストップ窓口の設置、支援期間終了後の協議会体制のあり方について検討が必要	広域ワンストップ窓口の設置、支援期間終了後の協議会体制のあり方について具体的に検討を行い、持続可能な仕組みを構築し、更には隣接する釧路・オホーツクとの連携も視野に入れた受け入れ体制の整備を目指す
3	旅行事業者との連携事業	交通アクセス・プロモーションの強化を図るため、連携協定を締結した旅行会社及び航空会社との協力体制の確立を目指す	平成24年度	■事業化に向けた協力体制の構築 ■運行体制の確立に向けた検討 ■調査事業の実施	・H26 実験事業フライト期間、機材等について協議・決定 ・旅行事業者を対象としたモニターツアーの実施	（効果） 実験事業に向け、一定期間の中型機就航確約を得ることができた （課題） 連携協定の発展的見直し、受入予約に係るオペレーション等について、航空会社、旅行事業者と協議しシステム化する必要がある	潜在的な需要があると思込まれる関西圏からの誘致に向け、航空会社へ路線整備、SE運賃の値下げ、乗り継ぎ割引などを要請し、旅行事業者にも積極的な営業活動を促し、地元との協力体制確立を目指す

※「地域再生プロジェクト計画書」（別記第1号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第3号様式）の記載との整合に留意すること

(2) 実績額

(単位：千円)

No	事業名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳							交付金 充当額 (充当要望額)
	実施主体名				国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源	その他	
							補助金等	委託費				
1	学習メニュー・プロモーション強化事業	H24 ～ H25	全 体 計 画	5,263					50		5,213	5,213
			平成24年度	2,498							2,498	2,498
	根室管内教育旅行誘致推進協議会(公)		平成25年度	2,765					50		2,715	2,715
2	教育旅行受入推進事業	H24 ～ H25	全 体 計 画	8,366							8,366	8,366
			平成24年度	5,891							5,891	5,891
	根室管内教育旅行誘致推進協議会(公)		平成25年度	2,475							2,475	2,475
3	旅行事業者との連携事業	H24 ～ H25	全 体 計 画	6,422					1		6,421	6,421
			平成24年度	1,612					1		1,611	1,611
	根室管内教育旅行誘致推進協議会(公)		平成25年度	4,810							4,810	4,810
計	事業数[3]	H24 ～ H25	全 体 計 画	20,051					51		20,000	20,000
			平成24年度	10,001					1		10,000	10,000
			平成25年度	10,050					50		10,000	10,000

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」(別記第2号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること